

図 書 館 だ よ り

2013 年 1 月～9 月 図書館日誌(中央図書館)

- 1.29 電子媒体検討委員会(第 2 回)
- 2.1 図書館学習支援連携委員会(第 12 回)
- 2.5 図書館協議員会(第 4 回)
- 3.25 卒業式につき図書館を開放(3/26 まで)
- 4.1 入学式につき図書館を開放(4/2 まで)
- 4.13 Library Week を開催(4/19 まで)
- 6.28 図書館協議員会(第 1 回)
- 7.22 夏季長期貸出(8/30 まで)
- 7.23 西早稲田中学校職業体験(7/25 まで)
- 8.3 夏季休業期間につき開館時間短縮(9/20 まで)
- 8.3 オープンキャンパスにつき図書館を開放(8/4 まで)
- 9.9 慶應義塾大学・立教大学実習生研修
(3 名、9/20 まで)
- 9.25 図書館学習支援連携委員会(第 13 回)
- 9.30 Library week を開催(10/5 まで)

～Pulsus～

大学図書館にいちばん通っていた時期は英国ケンブリッジ大学の博士課程に在籍していた三年間だった。午前中は寮の部屋でコンピュータに向かって文章を書き、午後は図書館で参考図書を調べたり、本や雑誌論文をリーディングルーム(閲覧室)で読んだりした。そして図書館のティールーム(喫茶店)で気分転換のコーヒーを一杯飲み、博論の進み具合や最近読んだおもしろい本について友達と話し合う。当時～もはや二十五年も前だが～多くの人文系の大学院生はそうのように毎日を過ごしていた。大学図書館は勉強する場所と同時に友達に会う場所、時にロマンスも生まれる場所だった。インターネットや電子図書・オンラインジャーナルの普及は確かに便利さをもたらし、図書館に行かなくても本や論文が読める。がそれでは何かが失われたように思う。いろいろな可能性を秘めている場所だから、ぜひとも部屋を出て図書館に行こう！

ゲイ ローリー : 法学学術院 教授
(図書館副館長)

[表紙写真]

相馬御風自筆「早稲田大学校歌」 1 額
ト 10-2749

早稲田に関係する人々にあらゆる場面で歌い継がれてきた早稲田大学校歌。この歌は、明治 40 年(1907)の大学創立 25 周年記念祝典にあわせて作られた。歌詞は最初懸賞で募集したが、ふさわしい作品がなかったため、審査にあたっていた坪内逍遙、島村抱月が、早稲田の卒業生で詩人の相馬御風に依頼をした。

表紙写真は 3 番から成る歌詞のうち、1 番部分。
なお、本資料は右記の展覧会に展示されている。

<展覧会のお知らせ>

下記の日程で展覧会を開催しています。みなさまのご来場を心よりお待ちしております。

<図書館企画展>

「人がうたをつくるとき

— 万葉集から校歌まで —」

会期:2013 年 10 月 18 日(金)～11 月 20 日(水)

会場:総合学術情報センター2 階展示室

時間:10:00～18:00

閉室:日曜日および 10 月 31 日(木)

但し、10 月 20 日(日)は開室

早稲田大学図書館報

ふみくら No.84

2013 年 10 月 21 日発行

2,500 部

発 行 人／飯島昇藏

編 集／莊司雅之・ティムソン ジョウナス・藤原一智・真島めぐみ

発 行／早稲田大学図書館 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1 電話 03-5286-1652

ISSN 0289-8926